



アローボイス

取扱説明書

コンビネーションタイプ

型式 SV-38A4

アロー株式会社
ARROW CO., LTD.

<http://www.arrow-elec.co.jp>

本社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3-30-20
☎06(6961)-1333(代) FAX06(6969)-0510
仙台営業所 〒983-0005 仙台市宮城野区福室5-2-3
☎022(786)-0278 FAX022(259)-8884
東京営業所 〒170-0012 東京都豊島区上池袋4-1-10F
☎03(5907)-3230 FAX03(5907)-3231
神奈川営業所 〒226-0011 横浜市緑区中山町301-5-3F
☎045(938)-0500 FAX045(938)-0600
名古屋営業所 〒465-0093 名古屋市名東区一社3-105-1
☎052(709)-5556 FAX052(709)-5573
大阪営業所 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3-30-20
☎06(6961)-0325 FAX06(6961)-1199
広島営業所 〒733-0005 広島市西区三滝町20-3-1F
☎082(239)-7254 FAX082(239)-7256
福岡営業所 〒812-0894 福岡市博多区諸岡1-6-36
☎092(574)-5446 FAX092(574)-5450

いつでも利用できるよう大切に保管してください。

このたびは、「アローボイス・コンビネーションタイプ」をご採用いただき誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては、まず、この取扱説明書を最後までご覧になって、ご使用上の注意等を十分ご理解頂き、性能が万全に発揮できる状態で末永くご愛用ください。また、いつでも読み返しできるよう大切に保管してください。

おねがい

出荷に際しては取扱説明書を含め十分なチェックをして万全を期しておりますが、万一ご使用中にご不審な点やお気づきのことがありましたら買い上げの販売店か最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

- ◎ 仕様および寸法は、改良のため将来予告なく変更する場合があります。
- ◎ 本機の故障等により誘発される損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。あらかじめご了承ください。

概要

本機は産業機器の異常報知や作業場の危険警報、業務上の合図、識別および防災など、さまざまな報知を音声で行う音声合成警報器です。

特長

- ☆新方式のADPCM方式でビットレート（時間あたりに使用するメモリ容量）は標準で64kbit/s（サンプリング周波数16kHz）合計記憶時間16秒（1M bit EPROMの時）、また、-40dB/octのLPF（ローパスフィルター）採用により非常にクリアな音質を実現しています。
- ☆編集機能により、同一コメントが複数部分にある場合、1回分の記憶のみで良い為、メモリの節約が可能です。
- ☆音声ROMの分析のビットレートは必要に応じて標準以外での作成が可能です。
 - 32kbit/s: 音質は低下しますが、再生時間が2倍（合計32秒）になります。
 - 128kbit/s: 音質は向上しますが、再生時間が半分（合計8秒）になります。
- ☆音声起動入力信号はビット入力（標準）の場合は4点、バイナリ入力の場合は15点（4ビット）まで使用できます。
- ☆音圧は、スピーカー前面中心線上1mの距離において、最大95dBで、本体内蔵のボリュームにより、小型○ドライバーにて無段階の音量調節ができます。
- ☆起動信号回路は、無電圧回路で、オープンコレクタ接続（シンク型シーケンサ）ができます。
- ☆パネル取付時前面からのみ防塵防雨構造になっています。（IP53）

目 次

1 : △安全にお使いいただくために	P.2
2 : 各部の名称および付属品	P.2
3 : 取付方法	P.3～4
4 : 結線方法	P.4
5 : 使用方法	P.5
6 : タイムチャート	P.6
7 : 音色ROM交換方法	P.6～7
8 : 定格	P.7
9 : 外観図	P.7

1 △安全にお使いいただくために

本機のご使用前に以下の「重要注意事項」をよくお読みいただき、理解し遵守してください。

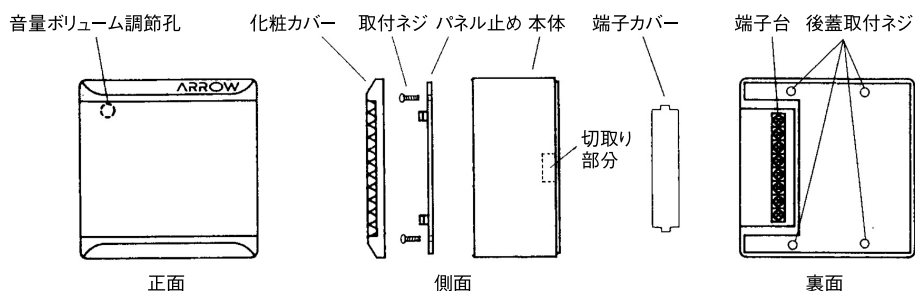
△注意：感電事故をさけるために

- ◎ 本機の結線時には、感電事故をさけるため、必ず電源を切ってから行なってください。

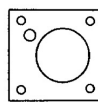
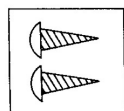
注意：本機の故障をさけるために

- ◎ 本機の定格範囲外で使用されますと、故障が起きたり十分な機能を発揮できないことがありますので、定格表に記載されている範囲内でご使用ください。
- ◎ 本機の結線や使用方法につきましては、結線方法や起動信号の投入時の注意事項等を遵守してください。故障の原因となったり、十分な機能を発揮できないことがあります。

2 各部の名称および付属品



付属品



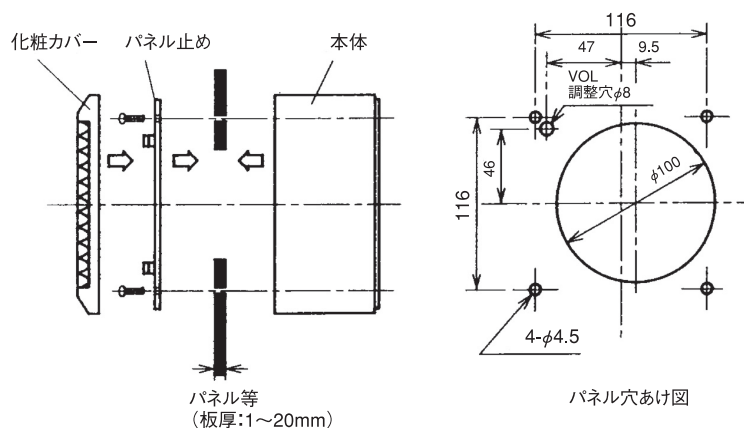
3 取付方法

注意

- ◎ 本機はパネル取付時に化粧カバー側からのみ防滴構造となっておりますので、漏電事故や故障をさけるために、壁面取付時やパネル取付時に後面端子台に、雨、水等のかかる場所には取付けないでください。
- ◎ 本機を異常な高温、低温、多湿及びガス等の発生する場所には取付けないでください。
- ◎ 内部回路の故障及び誤動作の防止のため、電磁波の強い場所には取付けないでください。

取付けは、振動の少ない十分強度のある面を選んでください。

●パネル取付時



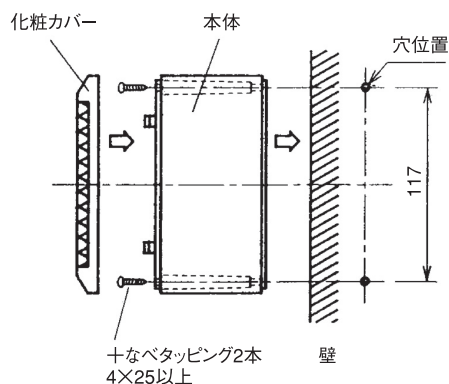
▽ 取付けるパネル面に穴加工を行なってください。(付属のパネル穴あけ図を使用すると簡単に行えます。)

▽ 2項を参照に化粧カバー、パネル止めを本体から取外してください。

▽ 上図を参照にパネル止めと本体でパネルをはさみ込む様にして取付けてください。

▽ 化粧カバーを取付けてください。

●壁面取付時



▽**2**項を参照に化粧カバーを本体から取外してください。

▽上図を参照に付属のビスセット又は太さ4mm長さ25mm以上のなべ頭のねじを使用し、壁面に取り付けてください。

▽化粧カバーを取付けてください。

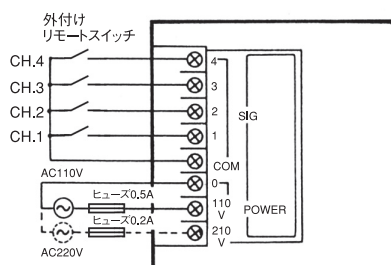
4 結線方法

注意

- まず、結線する前に使用電源電圧と本機の電源電圧の設定が一致している事をご確認ください。
- 結線する時は電源を切ってください。
- 直流用の場合、電源に極性があります。極性に注意してそれぞれ接続してください。
- 電圧変動の激しい電源（変動率10%を超える電源）やノイズ、サージを多く含む電源（±1000V、1 μ sを超えるもの）でのご使用はさけてください。誤動作や故障の原因となります。
- 配線（特に音声起動信号回路）は、余分な引き廻しや、高圧ケーブル等との併設はさけてください。電磁誘導により、誤動作や故障の原因となります。

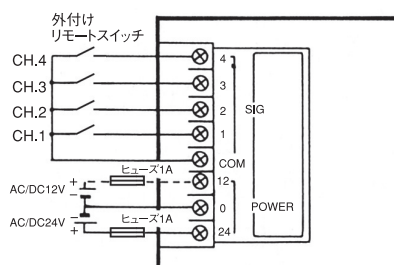
- 音声起動信号回路にはリレーやスイッチ等の無電圧接点回路またはオープンコレクタ回路（シンク型のもの）をご使用ください。
- 音声起動信号回路にはDC24V 10mAをスイッチングできるものをご使用ください。

110/220V 用の場合



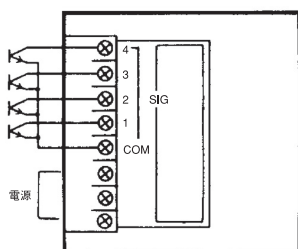
2電源電圧のうちいずれか 1電圧でご使用ください。

12/24V 用の場合



2電源電圧のうちいずれか 1電圧でご使用ください。

オープンコレクタ接続例



DC24V 10mA以上をスイッチングできる
オープンコレクタトランジスタをご使用ください。
直流電源の場合のみオープンコレクタの共通側（エミッタ側）を
電源のマイナス線（黒）に接続しても使用できます。

5 使用方法

注意

- 本機はパネル取付時に化粧カバー側からのみ防滴構造となっており、**3**項に基づいて正常に取付けた場合、水が浸入しない構造となっております。但し、直接高圧の水をかけたり、水中につけたりすることは絶対にさけてください。
- 本機はIC、LSIを使用しているため、電磁波の強い場所での使用はさけてください。誤動作により音が出なくなることがあります。
- 電源のON、OFFはチャタリング的に短時間に行わないでください。誤動作の恐れがありますのでOFF後は少なくとも2秒以上後にONになるようにしてください。又、電源電圧が徐々に上昇するような投入はさけてください。誤動作の恐れがあります。

- 本機は電源を投入後、音声起動信号回路が瞬時（100ms以上は必要）ONになれば、ONになったチャンネルの音声を最後まで1回だけ再生し、連続してONになれば音声を繰り返し再生します。（タイムチャート参照）
- 同時に複数のチャンネルの音声起動信号回路がONになったチャンネル番号の内一番若いものを再生します。（タイムチャート参照）（バイナリ仕様は除く）
- バイナリ入力仕様でご注文された場合、各音声起動信号の組合せと再生チャンネルは下図のようになります。尚、各信号間のタイムラグは10ms以下にしてください。

● バイナリ入力時の対比表

再生チャンネル	待機	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
音声起動信号回路番号	1	○		○		○		○		○		○		○		○
	2		○	○			○	○			○	○			○	○
	3				○	○	○	○					○	○	○	○
	4								○	○	○	○	○	○	○	○

○：ONになった音声起動信号回路

● 音量調節

音量調節は化粧カバーを取外して**2**項を参照に音量ボリューム調節孔より行います。尚、出荷時、音量は最大に設定してあります。

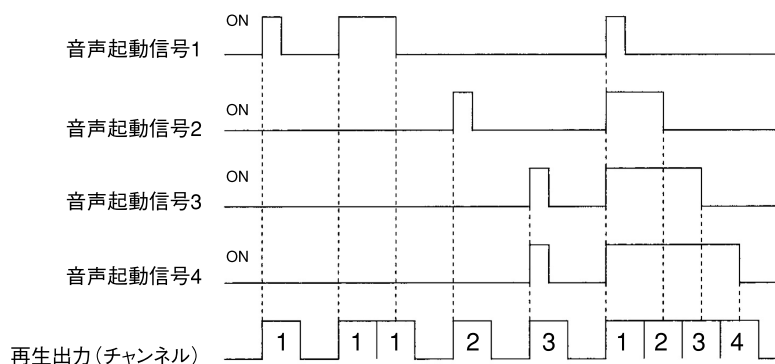
▽ **2**項を参照にして化粧カバーを取外してください。

▽ 小型の⊙ドライバーにて音量ボリュームを調節してください。音量を下げる場合は左へ廻してください。尚、ボリュームは強く押したり、無理に廻したりしないでください。故障の原因となります。

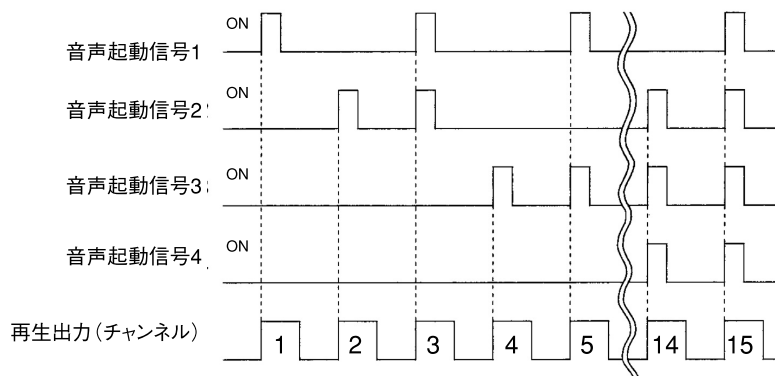
▽ 調節が終われば化粧カバーを元通りに取付けてください。

6 タイムチャート

●標準



●バイナリ仕様



※このタイムチャートにはタイムラグは含まれておりません。

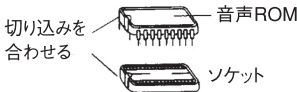
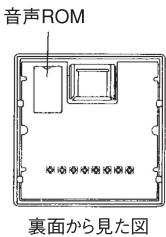
7 音声ROM交換方法

現在ご使用されている音声内容を変更する場合、本体内部にセットされている音声ROMを取り外し、新たに弊社にご注文された音声ROMを以下の手順に従って交換してください。

注意

- ◎ 音声ROM交換時は必ず電源を切ってから行なってください。
- ◎ 音声ROMの挿入時は方向を間違わないよう注意してください。又、ROMの足が折れ曲がったりしないよう注意して確実に挿入してください。
- ◎ 音声ROMを引き抜く際、◎ドライバー等で行う場合は基板上のパターンを切断しないよう注意してください。

- ▽**2**項を参照に後蓋取付ねじを外し、後蓋を取外してください。
- ▽メイン基板上の音声ROMを引き抜き、新たな音声ROMと交換してください。
- ▽後蓋、後蓋取付ねじを元通りに取付けてください。



8 定 格

●定格

定格電源電圧	AC110V 50/60Hz	AC220V 50/60Hz	AC/DC12V	AC/DC24V
使用電圧範囲	90V～120V	180V～240V	10V～14V	19V～27V
定格消費電力	10W	10W	6W	12W
定格出力	最大3W			
音 圧	最大95dB (1m前方)			
定格時間	連 続			
保護特性	IP53 (埋込時 防塵防雨構造)			
色 調	グレー (本体) 及びシルバーグレー (化粧カバー) のツートン			
製品質量	0.9kg		0.7kg	

使用周囲温度：-10℃～50℃ 使用周囲湿度：35%～85%RH (結露なきこと)

●音声合成部

音声合成方式	ADPCM方式
ビットレート	標準64kbit/s (32kbit/s、128kbit/sも可)
音声記憶時間	標準合計16秒 (64kbit/s) (32kbit/s時 32秒、128kbit/s時 8秒)
音声制御数	4種類 (バイナリ仕様時15種類4ビット)
音声起動信号 入力回路	無電圧接点又はオープンコレクタ (シンク型) DC24V10mAをスイッチングできるもの COM：マイナス
音声起動信号パルス幅	100ms以上

9 外観図

